

AMS-C14年代測定試料カード（地質・古環境等調査用）

株式会社 加速器分析研究所 **IAA**

TEL044-934-0020 FAX 044-931-5812

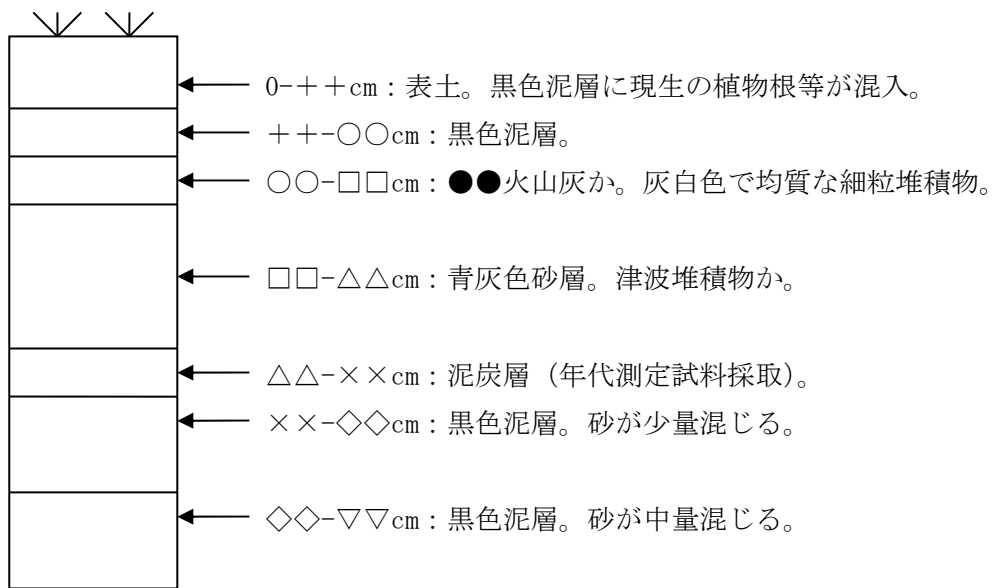
この電子ファイルを弊社ホームページ (<http://www.iaa-ams.co.jp/faq5.html>) よりダウンロードし、ご記入頂けます。

試料名・番号：No.1 採取地点（トレンチ・コア等）：〇〇コア 層位・深度：地表下△△-××cm	
種類：炭化物・木炭・木片・植物片・土壌・ 泥炭 ・貝殻・骨・その他（ ） 土壌・泥炭など土が主となる試料は下記選択肢よりご希望の処理方法をお選び下さい。 <u>◎のみ第二希望も選択</u> ① 106μmふるいで形のある有機物などを除去し、通過した土を試料とする。 ② 有機物と土壌を合わせて磨り潰して試料とする。 ◎ 炭化物・植物片など形ある有機物を優先する。採取できない時は（処理①・ 処理② ・追加・代替・中止）とする。 量：_____g（試料中に土壌を含む場合、最大量は100g） 特徴(詳細、学名等)：	
採取年月日・採取者名・所属機関 〇年△月×日、採取者●●▲▲、■研究所	
遺跡の所在地・立地（国・都道府県・市町村・番地、地形的特徴等） 〇県△市×町字〇。▲湾の●浜堤と■浜堤の堤間湿地。 （北緯●° 〇′ △″ 東経■° 〇′ ▲″ ）	
採取点の深さ、環境及び地層の説明、出土状態、年代の異なる炭素（modern 或は dead carbon）の混入の可能性等（可能であれば、柱状図も添付してください） 堤間湿地の現況は〇〇で、□□などの植物が繁茂している。〇〇コアの地表から△△-××cmに泥炭層が見られ、未分解の植物片等が含まれる。植物片の中にはヨシ地下茎のようなものが含まれ、これらは泥炭層堆積後に上位から入り込んだ可能性がある。泥炭層の上に砂層があり、津波によってもたらされた可能性がある。さらに砂層の上には●●火山灰（△～□年前）と見られる灰白色の堆積物が検出されている。	
試料の採取・処理・保存方法（保存処理を行った場合など、通常とは異なる処理が必要になることがあります） 〇〇を用いてコアを掘削。半割して泥炭層の一部を金属ヘラで採取後、アルミホイルで包み、ビニール袋に入れて常温保存した。	
年代測定の目的・意義 津波堆積物の可能性がある砂層の年代を明らかにする。	
炭素量が少なく AMS 測定が不可能な場合、 1.追加試料の送付 2.代替試料の送付 3.中止	残試料の取扱い 1.返却希望 2.希望なし（3年保管後廃棄）
処理方法のご要望（測定の対象を明確にする、特に堆積物などご注意ください） 泥炭ブロックの表面は汚れているため除去する。泥炭中には未分解の植物片等が含まれているが、その中には上位から入り込んだヨシ等が含まれている可能性がある。このため、種実や葉を最優先し、なければ木片を選ぶ。それらが全く見つからない場合には、泥炭全体をすりつぶして試料とする。	
従来の測定値または予想年代、関連文献（著者名・題・雑誌名、頁を記入してください） 泥炭層と砂層の上位にあるテフラは●●火山灰（△～□年前）の可能性はある（詳細な分析は未了）。 文献：〇〇 2000 ●●火山灰の年代について、△△研究, 164, pp.10-20	
報告書に関する指示 暦年較正 1.有 2.無（海洋試料の暦年較正 1.有 2.無） 較正年代の表記 1. cal BC/AD 2. cal BP 〇月〇日までに提出。暦年較正をして欲しい。	
測定依頼者 所属機関：■研究所 担当者：●●▲▲ 住所：〒〇〇〇-×××× 〇県△市×町〇-△△ 電話：〇〇〇-△△△-×××× Eメール：〇〇〇@△△.××.jp	

試料・分析方法に関する問い合わせ先（上記依頼者と異なる場合）	
住所：〒	
電話：	Eメール：
請求先情報（上記依頼者と異なる場合）	
宛名：	
住所：〒	
電話：	Eメール：

* 試料名・番号、試料の種類は必ずご記入下さい。
訂)

(2019年10月改)



柱状図